

今後の日程

(8月)

- 8/23 狭山ピラ統一行動
- 8/27 岩橋支部定期大会(岩橋文化会館)
- 8/28 第41回湯浅研究集会まとめ
(湯浅町総合センター)
- 8/30 対和歌山市交渉(勤労者総合センター)
- 8/30~31 部落解放共闘近畿・九州ブロック第27回交流会(長崎市)
- 8/31~9/1 近畿ブロック女性活動者交流会(奈良市)

(9月)

- 9/2 部落解放和歌山県共闘会議第38回定期総会(同和企業センター)
- 9/7 第57回全国青年集会 大阪・和歌山合同会議(同和企業センター)

【狭山学習会】

- 8/17 鳴神
- 8/19 古和田・西井坂
- 8/23 湯浅
- 8/27 岩橋

第57回全国青年集会

- 日時 9月21日(土)~22日(日)
- 場所 和歌山県民文化会館ほか

【1日目】

- 12:30 受付
- 13:00 開会行事
・和太鼓集団「初音」・和太鼓「心音」
- 13:30 全体開会
解放歌合唱
水平社宣言朗読
主催者あいさつ
地元歓迎あいさつ
来賓あいさつ
石川一雄さん・早智子さんアピール
基調提案
- 14:40 記念講演「今の青年に期待するもの」
松本吉弘(県連教育文化運動部長)
- 15:40 全体発言
集会スローガン
集会アピール
- 16:30 分科会
- 19:00 夕食
交流レセプション
- 20:30 閉会

和歌山県水平社創立90年

—地域の歴史と水平運動に学ぶin平井—

- 16:30 和歌山県連水平社
創立90周年について
- 17:30 フィールドワーク
(和歌山市公会堂跡)
- 18:30 終了

【2日目】

- 8:30 受付
- 9:00 分科会
- 12:00 閉会
- 8:30 各ホテル出発(車移動)
- 9:00 平井文化会館到着
- 11:30 終了
- 12:00 和歌山県民文化会館到着・解散

青年対策部会議、ひろく

青年対策部会議を7月12日、県連事務所までひらき、松井資喜・青年部長、速水雅樹・青年対策部長、対策

部員8人が参加した。第57回全国青年集会の分科会にかかわって、9月7日に大阪との合同会議を

ひろくことを決定した。今年の全青は、24年ぶりに和歌山で開催することもあり、全支部の青年が参加できるように、幅ひろく参加への呼びかけ再度おこなうことを確認した。

県連版などの現状を報告

全国教宣部長・機関紙担当者会議

第70期第1回(ブロック別)全国教宣部長・機関紙担当者会議が6月27日、大阪HRCビルでひらかれ、近畿・東海・北陸ブロックから14人が参加した。

最後に、赤井隆史・中央教宣広報部長は「解放同盟がなにを考えているかを客観的にみるために、支局をたちあげた経過がある。組織の影響力を発揮するにはさまざまなツールがあるのかを、どうステップするかを考えていかなければならない」としめくくった。

つぎに各都府県連からの報告では、大阪府連から「解放新聞がどう影響力を与える内容なのかを考え、2011年から議論している」、兵庫県連から「中央版の余剰を多くして、飛び込みの営業や関係者に配布している。青年部がフェイスブックを立ち上げ、多くのアクセスがある」などの報告があった。



あいさつする赤井隆史・教宣広報部長

移動保健所 地域の健康力を

7月17日、同和企業センターで「移動保健所健康検査事業」五者会議をひらいた。はじめに、松井辰也・生活労働運動部副部長から「この事業は、医大が実施した実態調査によって、劣悪な部落の環境や食生活などにより、部落の早死化や疾病率の高さなどの実態を改善するため、巡回保健相談事業や医大の健康講話事

業からはじまった。一般対策に移してから毎年続いており、日々の生活に追われ、健康に気をつけられない地域住民の掘り起こしを含め、地域の健康力を高めてほしい」とあいさつがあった。次に久保宣昭・県健康推進課副課長から事業の趣旨・経過説明を受けた。その後、当該支部と市町村、県、保健所、医大で詳細な打ち合わせをおこなった。今年の実施支部は、本渡支部(和歌山市)、湯浅支部(湯浅町)。

各支部で大会ひろく

- 本渡支部定期大会が6月28日、本渡文化会館でひらかれた。役員は昨年支部長 西田 政義
- 杭ノ瀬支部定期大会が7月6日、杭ノ瀬文化会館でひらかれた。役員は昨年支部長 中澤 敏浩
- 芦原支部定期大会が7月23日、芦原文化会館でひらかれた。役員は昨年支部長 岡本 峯雄
- 新宮支部女性部定期大会が6月21日、下田隣保館でひらかれた。役員は昨年支部長 吉本 信子
- 善明寺支部女性部定期大会が7月4日、善明寺文化会館でひらかれた。役員は昨年支部長 山本 はつ美
- 笠田東支部女性部定期大会が7月5日、笠田東町民館でひらかれた。役員は昨年支部長 辻岡
- 古和田支部女性部定期大会が7月9日、老人いこいの家でひらかれた。役員は昨年支部長 吉本 信子

アンケート調査を実施

県連障がい者部会を6月4日、平見良太・松井辰也・両執行委員、歌坂憲彦・部員、事務局4人が参加して県連でひらいた。

部員から、地域の隣保館が利用しにくいことから、地域の実態を調査すべきではないかなど意見が出された。各支部にアンケートを出し、県が出した実態調査とのすり合わせや防災の観点から行政や自治会とも協力し、ハード・ソフト面で話し合いをすることなどを決定した。また、各自で東日本震災で被災した障害者の実態を記した「逃げ遅れる人々」を視聴した。

支局からの お知らせ



お気軽にお電話を!

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していきたいと思えます。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎! 写真を添えて支局までお送り下さい。(発送先)〒640-8314 和歌山市神前405-3 部落解放同盟県連合会内 解放新聞和歌山支局宛